

## 情報公開文書

課題名 :胆嚢良性疾患に対する胆嚢摘出術の治療成績の検証

研究期間: 倫理委員会承認日～2025年12月31日

### 1. 研究の対象

2010年1月以降に胆嚢結石症、胆嚢炎、胆嚢腺筋腫症、あるいは良性胆嚢ポリープなどの良性胆嚢疾患に対して胆嚢摘出術を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

胆嚢摘出術は胆嚢結石症、胆嚢炎、胆嚢腺筋腫症、良性胆嚢ポリープなどの良性胆嚢疾患に対する症状の制御や、診断の確定、および再発の予防を目的としており、消化器外科治療の中で、日常的な外科手術の一つです。また、手術に伴うストレスが少なく、美容の観点からも利点の多い腹腔鏡を用いた治療法が広く受け入れられています。対象疾患は、突然の腹痛、悪心、嘔吐を伴って発症することも多く、かつ、感染症を伴って炎症が全身に及ぶこともあり、しばしば緊急的な処置が必要になります。手術の対象となる患者さんは健常な若年者だけでなく、食生活の欧米化に伴って成人病リスク因子(糖尿病、脂質異常症、肥満、高血圧症、脂肪肝など)を複数合併している患者さん、身体予備能の低下がうかがえる高齢者など、様々です。本邦は世界に先駆けて、急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドラインを作成しており、日常診療に役立っています。実臨床においては、患者さんの背景だけでなく、各施設の診療体制も治療経過に影響していると考えられ、治療方針の模索が続いています。良性胆嚢疾患に対して胆嚢摘出術を行った症例の治療成績を検証し、治療対象となった患者さんの特徴、手術の内容、術中後見、手術に伴う合併症を検討し、当院において至適な治療戦略を構築します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、血液検査結果、画像診断結果、治療歴、合併症の発生状況、病理結果、現在の状況 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

### 5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

### 6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  
浜松医療センター 消化器外科 田村 浩章(研究責任者)  
静岡県浜松市中区富塚町 328  
TEL:053-453-7111(代表)